

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

膀胱腔瘻修復術後の術後成績に影響を与える因子の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2019 年 4 月から 2024 年 12 月までの間に、昭和大学横浜市北部病院 女性骨盤底センターで膀胱腔瘻に対して手術を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

日本における膀胱腔瘻は、子宮の手術や放射線治療によって膀胱と腔の間の組織が欠損もしくは脆弱化して生じます。持続的な尿もれが特徴的な症状で、患者さんの生活の質を著しく低下させます。治療方法は一般的には手術となりますが、膀胱腔瘻の再発や排尿のトラブル（尿もれ、頻尿、尿意切迫感など）、そして痛みが手術後に問題となることがあります。これらが生じる原因として、膀胱腔瘻の原因や手術方法、または患者さんの合併症や年齢が考えられており、当センターで手術を受けられた方の手術前と手術後の状態を調査することで、これらの因子を検討することが本研究の目的となります。

これら因子が判明すると、今後同様の手術を受けられる患者さんの治療の選択の助けとなる可能性があります。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの情報（年齢、手術日、身長、体重、既往歴、MRI 検査の結果、膀胱鏡検査の結果、手術前後の尿流量検査[尿の勢いの検査]、手術前後の症状に関する質問票の結果）

手術の情報（手術の時間、出血量、手術の方法）

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者

研究機関名 昭和大学横浜市北部病院 女性骨盤底センター 氏名 岡田義之

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 女性骨盤底センター 氏名：岡田義之

住所：〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7194